科目名			担当教員	
刑事司法と福祉			菅原　好秀	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CF3174	2	1	RorSR（講義）	2年以上
履修登録条件		「権利擁護を支える法制度」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。		
生成 AI 利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

「刑事司法と福祉」の目的は、高齢者の犯罪や精神障害者の犯罪、非行少年などの諸問題に対して刑事司法機関だけでは対応できないため、福祉関係機関と刑事司法機関が密に連携しながら社会全体で一体となって再犯を防止し社会復帰させることです。犯罪者・非行少年の改善更生を図るために、「再犯防止」「社会復帰」に必要な担い手として社会福祉士や精神保健福祉士が期待されています。

講義では犯罪者、非行少年の事例を挙げて、刑事司法・少年司法分野で活躍する組織、団体及び専門職、刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携のあり方、更生保護の概要・担い手、保護観察制度、医療観察制度、犯罪被害者等支援を中心に学んでいきます。

刑事司法全体を概観し、相談援助活動に必要な更生保護制度について学ぶことにより、論理的・創造的な法的思考能力を図り、修得した知の経験を社会や他者のために還元できる意欲と能力の向上を図ることを目的とします。

なお、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験問題を学問的視点から解説しますので、受験する方はスクーリング受講をおすすめします。

■到達目標

1）刑事司法と福祉の概要について説明することができる。
2）更生保護制度の担い手について説明することができる。
3）医療観察制度の制度趣旨と問題点について説明することができる。
4）保護観察制度の制度趣旨と問題点について説明することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「倫理的実践力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 30%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 70%

■教科書・参考図書

【教科書】（「権利擁護を支える法制度」と共通、1）は「精神保健福祉制度論」と共通、2）は「家庭法」と共通）
1）菅原好秀著『司法と福祉』建帛社、2023 年
2）菅原好秀著『権利擁護と法』建帛社、2022 年
※「権利擁護を支える法制度」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（スクーリング時の教科書）上記教科書を使用しますので、旧教科書を所持している方はスクーリング受講までに上記の教科書を購入してください。

【参考図書】

1）菅原好秀編著『福祉ライブラリ福祉法学第２版』建帛社、2020 年

2）菅原好秀著『リスクマネジメントと法』建帛社、2020 年

3）犯罪白書（インターネットの検索サイトで各年度を参照してください）

■事前に学習してほしい科目

この科目を学ぶにあたり、事前に「法の基礎」「権利擁護を支える法制度」「家族法」「福祉リスクマネジメント」の教科書を読み、わかないところとわかるところをある程度、分類把握し、わからない用語は参考図書等を活用して調べてください。

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

スクーリングでは犯罪者、非行少年が共生社会の一員として、社会に貢献できる人材として総合的支援をするためには何が必要なのか、また更生への意欲を妨げている現状と課題について重点的に学んでください。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	刑事司法と福祉の全体像について	施設内処遇と社会内処遇について
2	保護観察制度	保護観察制度の現状と課題について
3	更生保護の担い手	保護司・更生保護女性会・BBS 会について
4	医療観察制度	医療観察制度の手続きについて
5	犯罪被害者等支援	犯罪被害者等支援に関する法制度について
6	高齢犯罪者	高齢犯罪者の実態と処遇について
7	少年非行	少年非行の現状と課題について
8	刑事司法と福祉の課題	刑事司法における福祉の役割と今後の展望について
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

法律は用語が難解であるため、一度で理解し覚えることは難しいため、できるだけ板書を中心に、教科書を用いながら講義を進めます。しっかりと講義を聴き、ノートをとるようにしてください。

■スクーリング評価基準

授業への参加状況（20%）とスクーリング試験（80%）で評価します。スクーリング試験は教科書・ノート・配付資料の持込可ですが、パソコンや携帯など電子機器類の持込はできません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

事前に教科書を読んでわからないところとわかるところをある程度、分類把握し、わからない用語は参考図書等を活用して調べてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	更生保護制度	更生保護制度の概要について学びます。	刑事司法の中の更生保護の位置づけについて説明できることが重要です。
2	仮釈放等	仮釈放等の制度概要について学びます。	仮釈放等の種類、手続きについて理解することが重要です。
3	保護観察制度	保護観察制度の概要について学びます。	保護観察の目的・方法について理解することが重要です。
4	保護観察対象者の現状と課題	保護観察対象者の現状と課題について学びます。	保護観察対象者の現状と課題を踏まえて今後求められる対応策について説明できることが重要です。
5	生活環境の調整	生活環境の調整について学びます。	収容中の者に対する生活環境の調整について説明できることが重要です。
6	更生緊急保護制度	更生緊急保護制度の概要について学びます。	更生緊急保護制度の意義、対象となる者について理解することが重要です。
7	更生緊急保護制度の現状と課題	更生緊急保護制度の現状と課題について学びます。	更生緊急保護制度の現状と課題を踏まえて今後求められる対応策について説明できることが重要です。
8	犯罪被害者等支援	犯罪被害者等支援について学びます。	犯罪被害者等にかかわる支援機関とその役割を理解し犯罪被害者等が活用できる制度を説明できることが重要です。
9	保護観察官	保護観察官について学びます。	保護観察官の意義と役割について説明できることが重要です。
10	保護司	保護司について学びます。	保護司の意義と役割について説明できることが重要です。
11	更生保護施設	更生保護施設について学びます。	更生保護施設の意義と役割について説明できることが重要です。
12	民間協力者	民間協力者について学びます。	更生保護女性会、BBS 会、協力雇用主について説明できることが重要です。
13	更生保護制度における関係機関・団体との連携	更生保護施設における関係機関・団体との連携について学びます。	裁判所、検察庁、矯正施設、児童相談所との関わりについて説明できることが重要です。
14	医療観察制度	医療観察制度の概要について学びます。	医療観察制度の制度背景、各制度趣旨について理解することが重要です。
15	医療観察制度の現状と課題	医療観察制度の現状と課題について学びます。	医療観察制度の現状と課題をふまえて今後求められる対応策について説明できることが重要です。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	医療観察制度について論ぜよ。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

論述にあたっては、法制度の意義、内容を具体的に説明した上で、自分の考えが述べられるようにしてください。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

医療観察制度の背景、目的、手続き、社会復帰調整官の業務を述べた上で、医療観察制度の現状と課題について言及してください。

科目修了試験

■評価基準

当該科目の内容理解がなされているかが重要であり、論述の分量（1 問あたり 400～800 字程度）も評価対象となります。また、法の制度趣旨、意義を述べた上で、現実との関連から自分なりの視点が述べられていることも評価の対象となります。